

# 医師確保計画の進捗について

## 【目次】

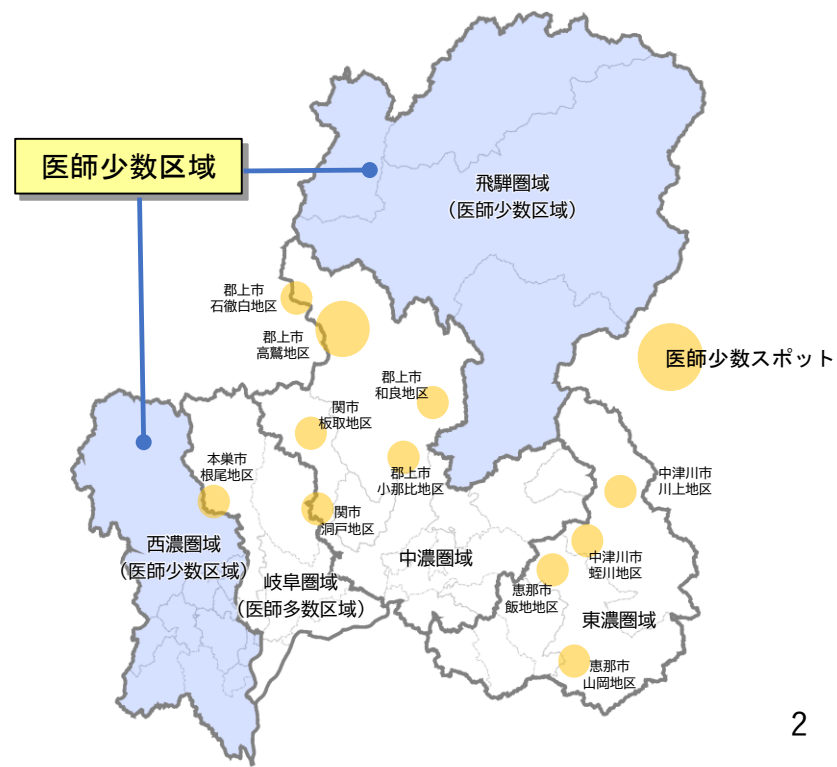
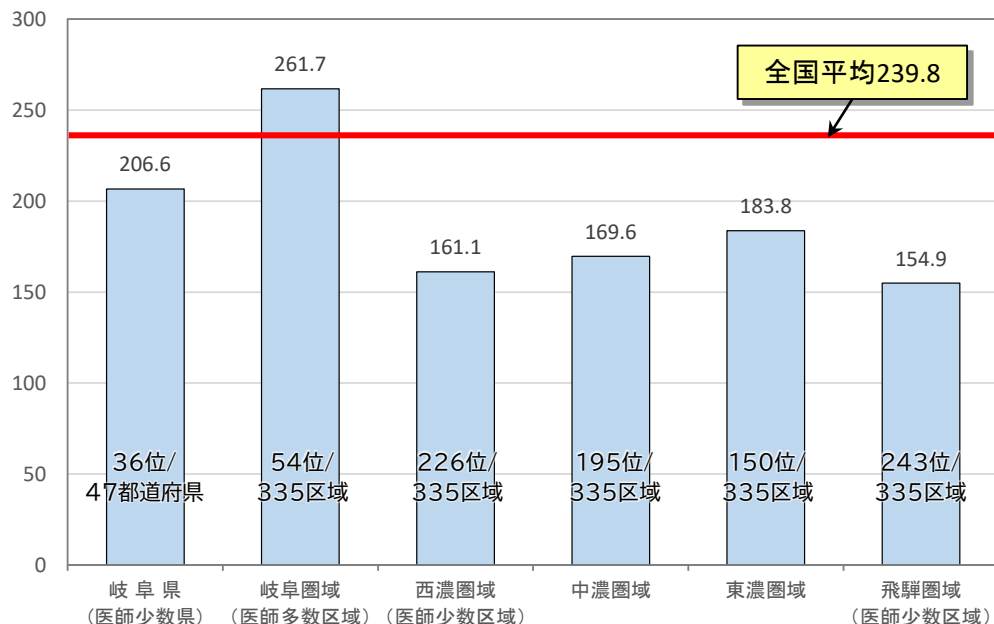
- はじめに（医師確保計画とは）
- 1 医学生修学資金受給医師
- 2 初期臨床研修（研修医）
  - 2－1 初期臨床研修医師数
  - 2－2 地域医療研修先
  - 2－3 初期臨床研修医の研修修了後の勤務先
- 3 専門研修（専攻医）



## 医師確保計画とは

- 平成30年7月に医療法が改正され、保健医療計画の一部として令和元年度に策定。  
(計画期間：令和2年度～令和5年度)
- これまで、地域ごとの医師偏在を測る指標として人口10万人対医師数が用いられてきたが、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する新たな指標として、医療需要・人口構成、医師の性別・年齢分布等を加味した「**医師偏在指標**」を設定。
- 医師偏在指標の下位3分の1程度を医師少数区域に設定し、医師少数区域を脱するよう医師偏在の是正を図る。
- 計画では、医師偏在指標の大小、将来の需給推計などを踏まえ、医療圏ごとに「医師確保の方針」を定めるとともに、各医療圏で確保すべき「目標医師数」、目標を達成するための「施策」を定める。

### 医師偏在指標



## 医師確保計画とは

### ■ 目標医師数（令和5年）

（単位：人）

区分	医療施設従事医師数 (H30年) <small>厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」</small>	医療施設従事医師数 (R2年) <small>厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」</small>	保健医療計画の人口10万人対 医師数の目標値 (R5年)	目標医師数 (R5年)	目標達成に必要な増加数 (R2年から)
岐阜県	4,295	4,442	235.9	4,553	111
西濃圏域	608	618	-	664以上	46以上
飛騨圏域	263	267	-	287以上	20以上
岐阜圏域	2188	2312	-	西濃・飛騨圏域と合わせて増加数が111人となるよう取り組む。	
中濃圏域	620	626	-		
東濃圏域	616	619	-		

### ■ 目標医師数を達成するための施策

- 1 地域卒卒業医師の確保
- 2 岐阜県医学生修学資金貸付制度による県内で勤務する医師の確保**
- 3 自治医科大学卒業医師の確保
- 4 臨床研修医の確保**
- 5 専攻医の確保**
- 6 岐阜県医師育成・確保コンソーシアムによるキャリア形成支援
- 7 勤務環境を改善するための施策 等

今回は、上記の目標医師数を達成するための施策のうち、「2 岐阜県医学生修学資金貸付制度による県内で勤務する医師」、「4 臨床研修医」、「5 専攻医」という観点から、次ページ以降その進捗について報告する。

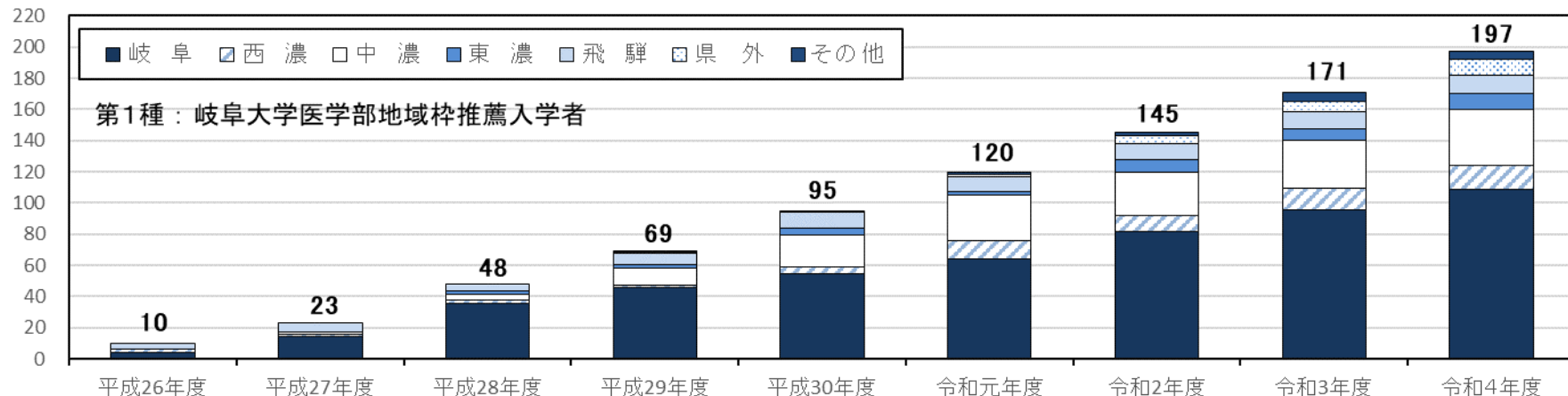
## 医学生修学資金受給医師の圏域別勤務状況（累計）

岐阜県医学生修学資金（平成20年度創設）を受給し、平成21年度から令和4年度に勤務を開始した医師の勤務状況を圏域別で集計。

医学生修学資金受給医師は年々増加し、令和4年度には274名が県内外で活躍中。

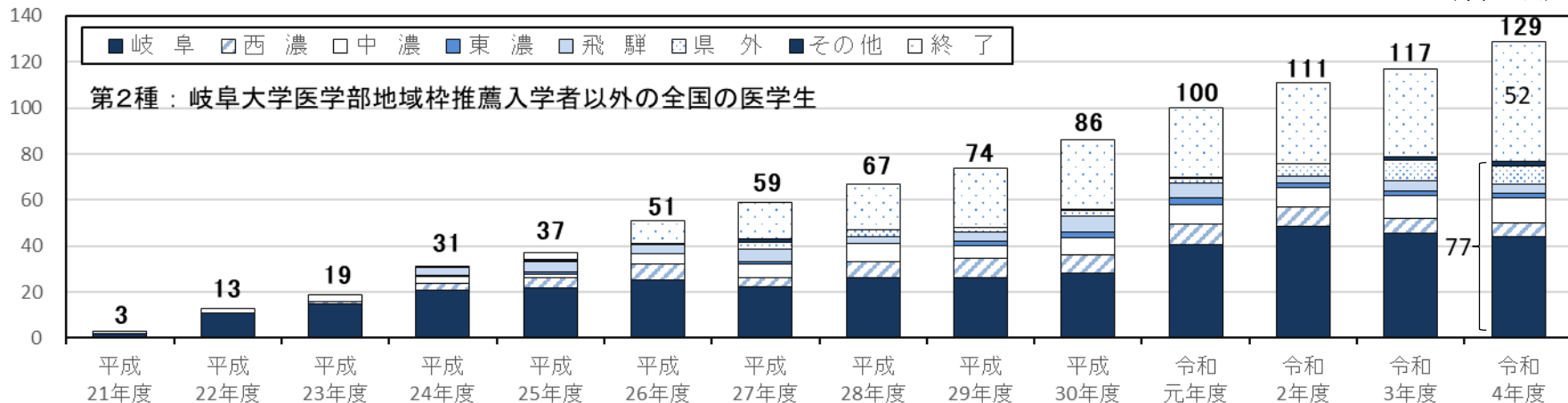
■ 第1種医学生修学資金受給医師（地域枠）の各年度における圏域別勤務状況（累計）

（単位：人）



■ 第2種医学生修学資金受給医師の各年度における圏域別勤務状況（累計）

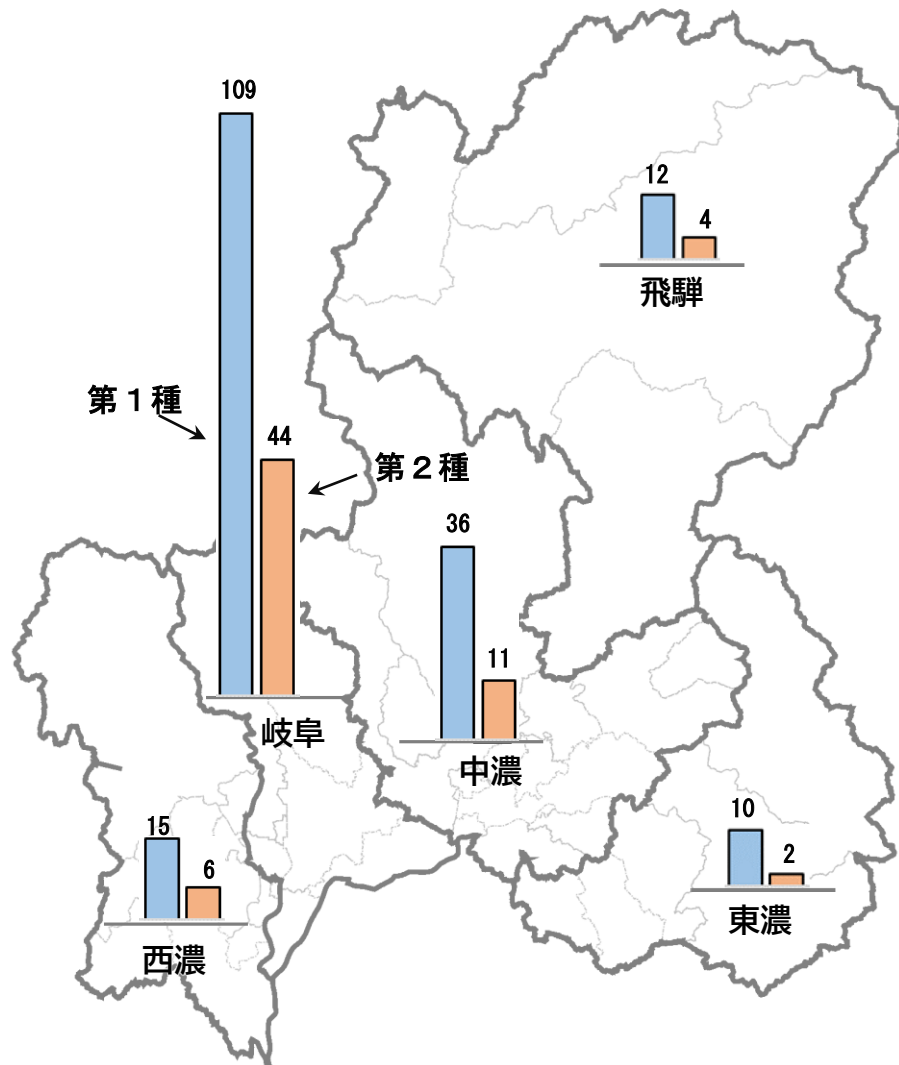
（単位：人）



# 令和4年度における医学修学資金受給医師の圏域別勤務状況

第1種・第2種ともに岐阜圏域で勤務する医師が多く、東濃圏域での勤務は少ない。

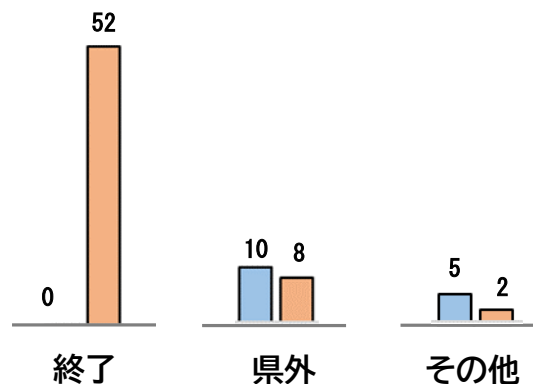
(単位：人)



■ 令和4年度 圏域別勤務状況  
(令和4年4月1日時点)

(単位：人)

圏域	第1種		第2種	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
岐阜	109	55.3	44	34.1
西濃	15	7.6	6	4.7
中濃	36	18.3	11	8.5
東濃	10	5.1	2	1.6
飛騨	12	6.1	4	3.1
県外	10	5.1	8	6.2
その他	5	2.5	2	1.6
終了	0	0.0	52	40.3
計	197	100.0	129	100.0



(出典) 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム提供資料より集計

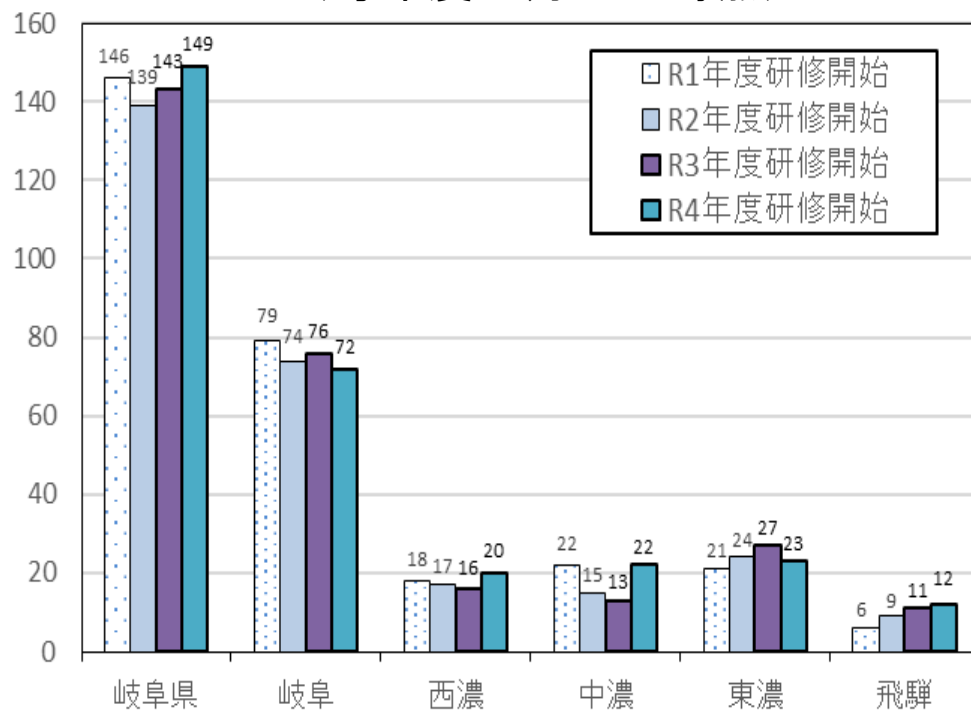
## 2 初期臨床研修（研修医）

### 2-1 初期臨床研修医師数

基幹型臨床研修病院における1年次の採用者数（マッチング・追加募集・再開者）を圏域別で集計。本県の研修医の採用者数は、毎年140名前後で推移。圏域別では、岐阜圏域に約半数が集中。

圏域別 採用者数  
（マッチング・追加募集・再開者含む）  
（毎年度4月1日時点）

（単位：人）



※「初期臨床研修」とは、医師法の規定により、医療に従事する際2年以上受けることとされている研修を指す。

※初期臨床研修の実施には、医学生と病院がそれぞれ希望順位登録を行い、マッチングシステムにより両者を組み合わせることによって、その研修先が決定される。

（出典）県医療福祉連携推進課調査

### 令和4年度医師臨床研修マッチング（令和5年度研修開始）結果（単位：人）

圏域	病院名	R5定員 (A)	マッチング結果 (R4.10.27) (B)	空席数 (A)-(B)
岐阜	岐阜県総合医療センター	16	16	0
	岐阜市民病院	16	16	0
	松波総合病院	10	10	0
	岐阜大学医学部附属病院	35	11	24
	岐阜大学医学部附属病院(小・産)	4	0	4
	東海中央病院	7	3	4
	岐阜赤十字病院	4	4	0
	羽島市民病院	4	4	0
	朝日大学病院	4	4	0
	長良医療センター	3	0	3
西濃	大垣市民病院	18	18	0
	大垣市民病院(小・産)	0	0	0
	揖斐厚生病院	2	0	2
中濃	中部国際医療センター	12	12	0
	中濃厚生病院	10	6	4
東濃	岐阜県立多治見病院	12	12	0
	土岐市立総合病院	5	3	2
	中津川市民病院	8	1	7
	東濃厚生病院	4	1	3
	多治見市民病院	4	2	2
飛騨	岐阜県立下呂温泉病院	2	0	2
	高山赤十字病院	8	6	2
	久美愛厚生病院	3	1	2
合計		191	130	61

※県総合医療センター、県立多治見病院、高山赤十字病院は自治医科大学卒業予定医師各1名を含む。6  
※高山赤十字病院は、地域医療重点プログラム採用者を1名含む。

### 2-2 地域医療研修先

初期臨床研修の2年目にへき地・離島の診療所、中小病院・診療所等（※）において1か月以上行うこととされている「地域医療研修」先を、圏域別で集計。

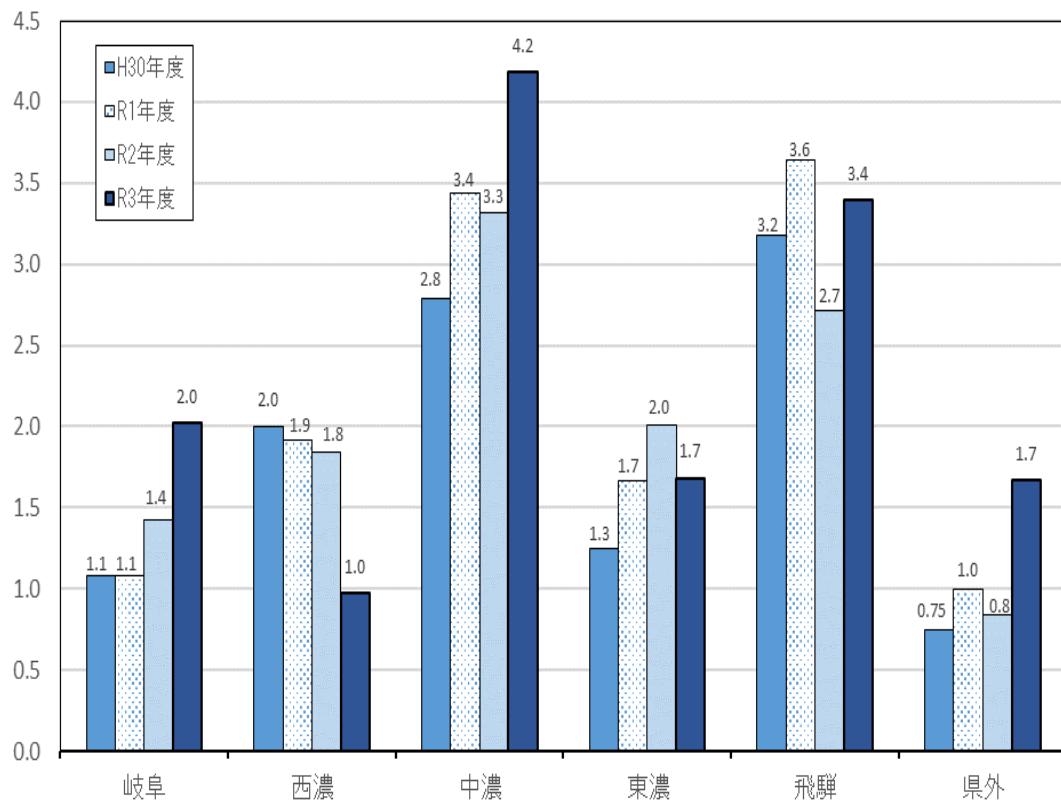
中濃圏域及び飛騨圏域を中心に地域医療研修が行われている。

■地域医療研修における圏域別研修人数

■地域医療研修における圏域別研修人数

（単位：人）

（単位：人）



圏域	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
岐阜	1.1	1.1	1.4	2.0
西濃	2.0	1.9	1.8	1.0
中濃	2.8	3.4	3.3	4.2
東濃	1.3	1.7	2.0	1.7
飛騨	3.2	3.6	2.7	3.4
県外	0.8	1.0	0.8	1.7
計	11.1	12.7	12.1	13.9

※単位：人（12か月研修を実施した場合＝1人とする）

（※）R2からは「へき地・離島の医療機関」「許可病床が200床未満の病院または診療所」

（出典）臨床研修費補助金実績報告

## 2-3 初期臨床研修医の研修修了後の勤務先

初期臨床研修が修了した医師の、卒後3年目（4月1日現在）における圏域別の勤務状況について集計。  
令和3年度に県内で初期臨床研修を行った医師の67.9%が、引き続き県内医療機関で勤務。

## ■研修修了者の卒後3年目における県内外での勤務状況

研修修了年度		県内で勤務		県外で勤務		不明		計(人)
		県内(人)	割合(%)	県外(人)	割合(%)	不明(人)	割合(%)	
平成23年度修了者	(平成24年4月勤務先)	73	67.6%	35	32.4%	0	0.0%	108
平成24年度修了者	(平成25年4月勤務先)	78	77.2%	23	22.8%	0	0.0%	101
平成25年度修了者	(平成26年4月勤務先)	84	75.0%	27	24.1%	1	0.9%	112
平成26年度修了者	(平成27年4月勤務先)	86	78.9%	23	21.1%	0	0.0%	109
平成27年度修了者	(平成28年4月勤務先)	80	73.4%	29	26.6%	0	0.0%	109
平成28年度修了者	(平成29年4月勤務先)	84	72.4%	31	26.7%	1	0.9%	116
平成29年度修了者	(平成30年4月勤務先)	95	76.6%	28	22.6%	1	0.8%	124
平成30年度修了者	(平成31年4月勤務先)	93	78.8%	24	20.3%	1	0.8%	118
令和元年度修了者	(令和2年4月勤務先)	104	73.8%	33	23.4%	4	2.8%	141
令和2年度修了者	(令和3年4月勤務先)	105	73.4%	35	24.4%	3	2.1%	143
令和3年度修了者	(令和4年4月勤務先)	93	67.9%	44	32.0%	0	0.0%	137
合計		975	74.0%	332	25.2%	11	0.8%	1,318

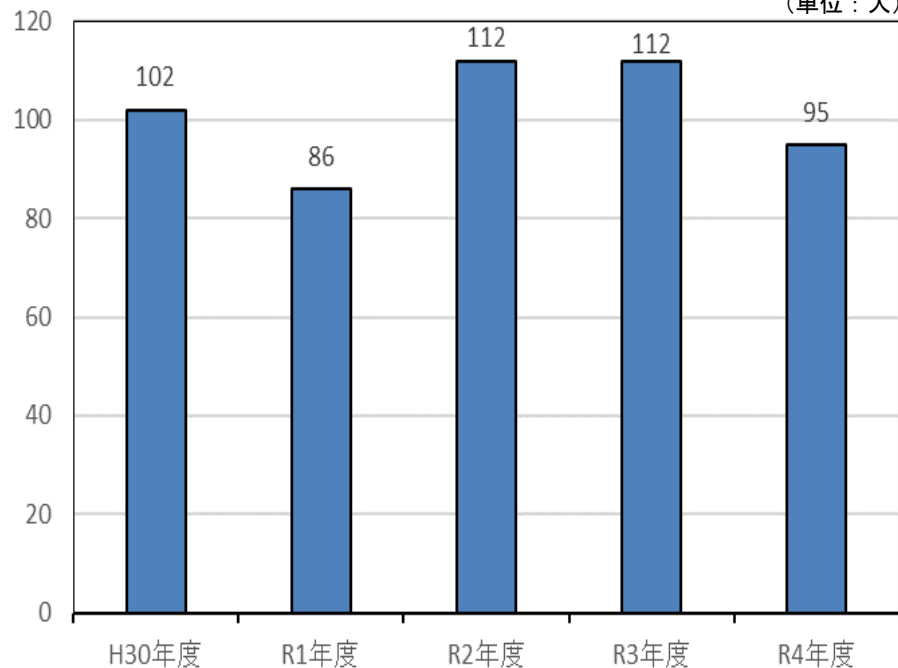


## 専攻医の状況

新専門医制度が開始された平成30年度以降、各年度の専攻医の登録数は毎年100名前後で推移

### ■ 年度別専門研修登録者数

(単位：人)



### 【参考】令和5年度県内専門研修プログラム一覧（基本領域別）

領域	プログラム名	プログラム年数	募集定員
内科	岐阜大学医学部附属病院	3	25
	岐阜市民病院	3	10
	県総合医療センター	3	10
	松波総合病院	3	6
	大垣市民病院	3	8
	中濃厚生病院	3	5
	中部国際医療センター	3	5
	県立多治見病院	3	8
	多治見市民病院	3	3
	高山赤十字病院	3	5
計			85
小児科	岐阜大学医学部附属病院	3	13
	県総合医療センター	3	2
計			15
皮膚科	岐阜大学医学部附属病院	5	9
	中部国際医療センター	5	2
計			11
精神科	岐阜大学医学部附属病院	3	10
	のぞみの丘ホスピタル	3	3
	県立多治見病院	3	1
	聖十字病院	3	3
計			17
外科	岐阜大学医学部附属病院	3	20
	大垣市民病院	3	8
	県立多治見病院	3	4
計			32
整形外科	岐阜大学医学部附属病院	4	6
	県総合医療センター	4	2
	朝日大学病院	4	2
計			10

領域	プログラム名	プログラム年数	募集定員
産婦人科	岐阜大学医学部附属病院	3	20
	松波総合病院	3	2
計			22
眼科	岐阜大学医学部附属病院	4	4
耳鼻咽喉科	岐阜大学医学部附属病院	4	6
泌尿器科	岐阜大学医学部附属病院	4	6
脳神経外科	岐阜大学医学部附属病院	4	8
放射線科	岐阜大学医学部附属病院	3	9
麻酔科	岐阜大学医学部附属病院	4	10
	中濃厚生病院	4	4
	大垣市民病院	4	1
計			15
病理	岐阜大学医学部附属病院	3	4
臨床検査	岐阜大学医学部附属病院	3	1
救急	岐阜大学医学部附属病院	3	10
	中部国際医療センター	3	4
計			14
形成外科	岐阜大学医学部附属病院	4	2
リハビリ	岐阜大学医学部附属病院	2	2
総合診療	岐阜大学医学部附属病院	3	4
	松波総合病院	3	2
	みどり病院	4	2
	中濃厚生病院	3	3
	中部国際医療センター	3	1
	国保白鳥病院	3	2
市立恵那病院	4	2	
計			16
合計			279

※専門研修とは、初期臨床研修修了後、主に3～5年間、各基本領域学会が定めた知識・技能の習得を行うための研修であり、この専門研修プログラムを行う医師を専攻医と呼ぶ。

この専門研修プログラムを修了し、認定試験に合格することで、専門医となることができる。

※ 県内を基幹施設とするプログラムの定員、年数を基本領域(19領域)ごとに記載。

いずれの領域も岐阜圏域に所在する基幹施設のプログラムが多い(28/47件)が、岐阜圏域の基幹施設が保有するプログラムであっても岐阜圏域以外の各圏域の連携施設で一定期間勤務するよう配慮される。